

それいけ! 社協



高鍋社協広報誌
no.10 2024.3



cover 災害ボランティアセンター運営訓練

大事なのは、みんなで「想像」すること。



実 施された訓練は、西都・児湯ブロックの社会福祉協議会合同による災害ボランティアセンター運営訓練です。会場はたかしんホール（高鍋町中央公民館）。当日は防災作業着をまとった河野知事も駆けつけていただきました。訓練では町民の方も交え、運営側のボランティア受付班、オリエンテーション班、マッチン



グ・グルーピング班、送り出し・資材班など、ボランティア役の方々に実際に想定されるセンターの役割を配置。運営では感染症拡大における対応方法も課題の一つです。途中で各班ごとに反省点や改善点を振り返る時間を設け、工夫を活かしながら次の実践につなげています。住民や団体、組織が主体的に考え、行動できるように地域の災害対応力の向上は不可欠です。こういった訓練や活動をとおして「もしもを想像する」ことが一人ひとりの習慣になっていくことを目指します。

昨年11月、南海トラフ地震を想定した災害ボランティアセンター運営訓練が実施されました。2回に分けて行われた訓練後半は、奇しくも能登半島地震が起こる約一ヶ月前。今私たちにできること、すべきことは何なのか。突然見舞われるかもしれない光景に備えるには、まず「想像」する力が必要ではないでしょうか。

訓練に参加して



地域住民 **黒木智恵子さん**

ボランティアというものを初めて体験しまして、思っていた事とは全然違っていました。とても良い経験となり、高齢者の私でも力を貸せることが出来るんだと実感しました。できればもっと若い人達の力があれば良いのではないかと感じます。中学生、高校生の方々にも参加してもらい、少しずつでも災害の時を想像してもらう機会が増えればいいですね。



高鍋町地域包括支援センター 主任 **黒木亮伸さん**

地域の方たちが、積極的に活動いただいたおかげで必要な人材と物品を効率よく準備できたと思います。実際に災害が起きた場合、限られた人材や資源の中で被災された方のニーズの支援を行うことになると思います。どのような状況になっても慌てず様々な関係者と協力し、できることは何かを考え行動することを学ぶことができたと思います。

地元高校生 との想像



昨年11月、高鍋高校において、高鍋高校JRC部、地域住民（菖蒲池西地区）、社協職員で大規模災害時の避難所運営を模擬体験する「避難所運営ゲーム」を行いました。高鍋高校の地図を使い、避難者の年齢や性別国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードをどれだけ適切に配置できるか、想像力を働かせる時間でした。

災害対応力を高める3つの段階を理解しておこう。

① じじょ 自助



まず、自分と家族を守ること！災害時には何よりも命を最優先に。

② きょうじょ 共助



自助が出来ると、自分の周囲に目配せができる。周りの人たちとともにたすけあうことができる。

③ こうじょ 公助



共助を行っている間に公助が到着し、本格的な救助（救護）活動が始まる。

ごあいさつ



新会長
中武 功見

このたび、高鍋町社会福祉協議会の会長に就任いたしました中武功見です。微力ではございますが、社会福祉協議会の円滑な運営と地域福祉の充実に向け、全力で取り組んでいく所存です。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

近年、少子高齢社会の進行、家族機能の低下など、地域社会を取り巻く環境が大きく変化しており、また、新型コロナウイルスの影響で地域のつながりの希薄化して、社会に影を落としています。

このような状況を背景に、高齢者の孤立、子育てに対する不安、経済的困窮など、地域における生活課題は深刻化し、顕在化してきています。

このような課題に対し、私たち社協は、基本理念であります『だれもが住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり』の実現を目指し、役員一丸となって、力強く取り組んでまいります。

皆様の更なるご支援・ご協力をお願いいたします。



旧会長
岩崎 信や

会長在任中は、地域住民の皆様はじめ、地域福祉に関わる団体・機関など多くの方々のご理解とご協力により、社協の事業を着実に推進することができました。心から感謝を申し上げます。

さて、地域福祉を取り巻く環境は、少子高齢化と人口減少の一層の進展、担い手の減少による地域の活力や持続可能性の低下、隣近所の付き合いや住民相互のつながりの希薄化が進んできています。

そのような中、地域や職場・家庭など生活の様々な場で支え合いの基盤が弱まり、「8050 問題」「ひきこもり」「貧富の格差」など、複雑・多様化した深刻な問題が多発しています。

このような社会で、誰もが思いやりの心を持って、「気軽に、助け合い、支え合える地域」に育てていくことが最善の道だと思います。そして、地域住民はじめ多様な主体が、制度や分野の垣根を超えて、「いずれは我が身に迫ってくる問題」として認識し、連携協働することが不可欠です。

支え合う地域を目指すことが社会を健全に維持する重要な柱の一つと考えます。一日も早く実現されることを願い、退任の挨拶とさせていただきます

N · E · W · S

p a r t n e r s h i p

TSUTAYA たかなべ店 × 高鍋社協 包括的パートナーシップ

高鍋社協は TSUTAYA たかなべ店様と包括的パートナーシップの応援協定を締結しました。この協定では、お互いに高鍋地域内の福祉の推進や啓発などの向上を目指します。協定式当日はさっそく TSUTAYA 店内を会場とした「こども宅食」が開催されました。これからは認知症や障がい、地域課題などに関してイベントや情報誌の配布等を行っていきます。



事業紹介

ともだち児童クラブ

（東小学校放課後児童クラブ）



遊びの時間と生活の場を届けます。



ケガをしないように見守りつつ、一緒に遊んだり、宿題の様子をみたりして過ごしています。

お迎えまでの流れ（平日）



子ども達を見守るのが基本です。ケガをしないように、ルールを守りつつ、楽しく学童で過ごせるような環境づくりを心がけています。遊びを通して協調性・自主性・積極性などを育てていければいいですね。



対象

高鍋東小の1～6年生

時間

・授業のある日は下校時から 18 時 30 分まで
・授業のない日は朝 7 時 30 分から 18 時 30 分まで

詳しくはこちらまで 090-8664-6490（児童クラブ担当）



寄付品

干し芋、クレソン

甦る大地の会 鈴木 孝康さま

お膳部には、干し芋、クレソン等を提供しています。高鍋町にお住まいの方々への一助となればという想いで提供させて頂いております。干し芋はそのまま食べて頂いても美味しいですが、寒い時期は炙って温めて食べるとより一層美味しく頂けます。暑い時期は冷やして食べるのもオススメです。クレソンはサラダか鍋で食べるのがオススメです。



寄付品はお膳部の活動へ
あてられています。

おもいやりのお裾分け



たかなベギョーザ 武末 哲治さま

高鍋町といえば「ギョーザ」。少しでも多くの方々に食べてもらいたい。こども達にたくさん食べてもらってギョーザで育ったんだと想ってもらいたい。その一心でお膳部にギョーザを提供させて

頂いております。焼くだけでなく、鍋に入れたり茹でても美味しく頂けます。ギョーザ県宮崎を高鍋から盛り上げたい。その一心でお膳部にギョーザを提供させていただきます。

寄付品

冷凍餃子



新職員紹介

これからお世話になります。



松本 めぐみ | 子ども家庭支援センター「みらい」

好きな言葉

「感謝」

色々な人やものだったりに支えられて今の暮らしがあるので、小さなことにも感謝を忘れずたいです。

趣味・特技

「岩盤浴、温泉」

毎日の忙しい日常から離れて“無”になる時間が好きで癒しです。オススメあれば教えてください！

高鍋社協で働こうと思った理由

地域の人たちや色々な方と一緒に高鍋のために働きたいと思ったからです。



かばやま ちから 樺山 力 | 地域包括支援センター

好きな言葉

「いいかげん」

“丁度良い加減で生きなさい” 人生の先輩に教わった言葉です。

趣味・特技

「カメラ」

長男が産まれてからカメラを始めました。最近は追いつけないので後ろ姿ばかり撮っています。

高鍋社協で働こうと思った理由

高齢者の地域福祉に携わりたいと思い高鍋社協にきました。

忌 明 寄 付

寄付者氏名一故人一住所

12月	11月	10月	9月	8月	7月						
工藤優男 城戸桂子 工藤久美子 大池久保	野口恵子 平口浩一 城戸研 野口和利 平口年秋 市山 蚊口西の二 小丸下	岩村美代子 毛利継宗 河野恵子 恵利由美 森永祥子 野村カズエ 黒木演子 山口慶子 井上弘子 篤志寄付金	岩村昭太郎 毛利亮子 宮越明恵 安藤シノ 桑野敏郎 野村正光 黒木忍 山口アイ子 井上勝明 東亮太	谷川利治 黒木英信 緒方博俊 緒方アヤ子 林充子 児玉博幸 杉田光秋 宮本翔希 倉掛高洋 永友清隆 矢野徹 桑山初子 宮崎太陽サービス 松本水産(株)	谷川サエ子 黒木英子 緒方アヤ子 林充子 児玉スミ子 小畑スエ子 宮本千代子 倉掛香代子 永友幸子 矢野徹 小丸団地	上野正光 高橋直子 小嶋美穂子 中神哲子 篤志寄付金 東亮太	上野幸子 高橋照久 小嶋辰巳 中神正徳 蚊口中 下屋敷 鬼ヶ久保 松本	成本市三郎 永友余史子 黒木邦男 河野敬三 山本キミ子 釜瀬虎男 道具小路東	西平原 持田 宮田 切原 北平原 大池久保 宮田下	中玉利ユリ子 上水悦子 磯部國雄 磯部静子 高橋憲三 大塚茂夫 吉田実紀 吉田信一郎 東亮太	市山 正祐寺 下永谷 大池久保 宮田下

令和5年7月1日から12月31日まで次の方々からご寄付がありました。
個人情報保護法に基づき了承を得た方のみ掲載しております。

解決 たっしげ君

第8話 児童クラブ編



脚本：かこ

高鍋社協社屋が移転しました！

移転先は、同じ敷地内にあった旧高鍋町デイサービスセンター跡地です。元センターフロアが事務所に、元事務室がこゆ成年後見支援センターへと改修になり、会議室等も整備されました。お膳部で使用される食材等の管理から配送まで一括してできるようになり、地域活動にも使いやすい開放的な空間になっています。



上．職員とも触れ合いやすい広々とした明るい空間でお待ちしております。左下．入浴場が会議室に改修されました。右下．玄関口を入ると、こゆ成年後見支援センターの窓口があります。

MAP

ホテル四季亭 ●

恵屋 ●

しろはと工房 ●

たかなべ
ギョーザ

津久見屋 ●
果實店

● 宮崎銀行

居酒屋小澤別館 ●

ココ

(旧高鍋町デイサービスセンター跡地)



総合福祉
高鍋社協



高鍋町社会福祉協議会の財務情報は
ホームページに掲載しております。

今回の取材は、感染症予防対策をしっかりと行いつつ、撮影時のみマスクの着用を控える形で取り組みました。ご協力いただきありがとうございます。

発行 社会福祉法人 高鍋町社会福祉協議会
宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 300 番地 ☎ 0983-22-4076
令和 6 年 3 月発行